

第三セクターの経営健全化方針

1. 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和3年12月10日
作成担当部署 銚子市観光商工課

2. 第三セクターの概要

法人名	株式会社銚子スポーツタウン
代表者名	代表取締役 小倉 和俊
所在地	千葉県銚子市東芝町1番地の7
設立年月日	平成29年1月20日
資本金	5,000千円【市の出資額(出資割合) 2,500千円(50.0%)】
主な業務内容	スポーツ合宿施設「銚子スポーツタウン」の管理運営

3. 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの市の関与

株式会社銚子スポーツタウンは、本市のスポーツツーリズムの活性化を目指し、旧銚子市立銚子西高等学校の校舎等をスポーツ合宿施設として改修、整備した「銚子スポーツタウン」の管理運営を行うことを目的とし、銚子市、地域スポーツコミッションである NPO 法人銚子スポーツコミュニティー役員の出資により設立された第三セクターである。

廃校舎を合宿施設に改修、整備した際に多額の投資を行ったため、平成29年度(第2期)から債務超過となっている。

平成30年度(第3期)から宿泊事業を開始し、サイクルイベント「ツール・ド・ちば2018」をはじめとしたイベントや大会開催の誘致を実施するなど、スポーツ団体を中心に施設の認知度が高まり宿泊数が順調に増えていた。しかしながら、令和元年度末から新型コロナウイルスの感染が急拡大したことによるスポーツ団体や個人の活動の制限または自粛の影響で宿泊者数が激減したことから、令和2年度は大幅な経常損失となっている。令和3年度においても感染拡大による活動自粛が続き、宿泊者数は回復しておらず、大幅な経常損失が見込まれている。

4. 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

新型コロナの影響による宿泊キャンセルがなかった場合、減価償却費を除い

た収支は黒字に転じていたことから、銚子スポーツタウンのブランディング、プロモーションは一定の成果があったと思われる。銚子スポーツタウンは本市唯一のスポーツ合宿施設であり、スポーツツーリズムを推進する上で重要な拠点でもあることから、同社には引き続き金融機関との債務調整や、コロナ禍においても安定的に収益を確保できる事業の実施を促し、市も必要に応じて助言を行うなど、経営改善に向けた取組を進めていく。

5. 抜本的な改革を含む経営健全化のための具体的な対応

未だ新型コロナウイルスの感染収束や、スポーツ団体の本格的な活動再開の見通しが不透明であり、大規模イベントや大会の開催が困難である。

コロナ禍においても安定的に収益を確保するため、地域や近隣市町の住民を対象とした継続的なスポーツ教室の開催や、家族やサークルなど少人数をターゲットにしたキャンプ事業、施設の時間貸し事業を開始した。

本市としてもこれまで以上に収支状況を注視しながら、主収入である宿泊収入の改善に向け適切な助言を行っていく。

6. 法人の財務状況

	第3期 2018年4月～ 2019年3月 (平成30年度)	第4期 2019年4月～ 2020年3月 (令和元年度)	第5期 2020年4月～ 2021年3月 (令和2年度)
総売上高	70,892,406円	67,734,803円	20,971,369円
経常利益・経常損失	△56,792,197円	△52,490,728円	△62,902,248円
特別損益	44,375,005円	21,351,552円	12,347,073円
税引前純利益・純損失	△12,417,192円	△31,139,176円	△50,555,175円
当期純利益・純損失	△12,497,192円	△31,219,176円	△50,635,175円
1株当たりの 当期純利益・純損失	△124,971円92銭	△312,191円76銭	△506,351円75銭
総資産	231,111,316円	217,894,634円	219,933,945円
純資産	△6,988,531円	△38,207,707円	△88,842,882円